

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DW3096

ダイアボンドDW3096は、耐熱性良好な一液形アクリル樹脂系水性接着剤です。

§ 特長

1. 耐熱性（特に耐熱クリープ）に優れます。
2. ポリオレフィンに対する密着性が良好です。
3. 有機溶剤予防規則及び消防法危険物の規制を受けません。

§ 用途

ポリプロピレン、ポリウレタンフォーム、ポリエチレンフォーム、フェルト他の接着

§ 一般性状

| | |
|-------------------|-----------------|
| 主 成 分 | アクリル樹脂 |
| 外 観 | 乳白色 |
| 不 揮 発 分 (%) | 55.0 ± 2.0* |
| 粘 度 (mPa·s) at23℃ | 5,000 ~ 15,000* |
| p H | 5.0 ~ 7.5* |
| 保 証 期 間 (月) at25℃ | 6* |

※開発品のため暫定規格

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 標準塗布量は約 150g/m²です。
3. 乾燥・接着方法 接着剤塗布後 100~110℃で2~3分間乾燥後、貼り合わせます。
室温乾燥可能です。
乾燥は塗布皮膜が透明になる様にして下さい。
4. 養 生 常温で1日以上養生させます。

§ 接着性能 (試験方法：JIS K 6854 に準ずる)

180 度はく離強さ

[N/25mm]

| | 常態 | 耐寒 | |
|---------------------|--------|------------|--------|
| | | -40℃ | 0℃ |
| ウレタンフォーム 対 PP 板 | 15 PU* | 5~10 PP(S) | 12 PU* |
| ウレタンフォーム 対 ABS 板 | 15 PU* | 16 PU* | 13 PU* |
| 綿帆布 対 PP 板 | 15 PP | 1 PP | 12 PP |
| 綿帆布 対 ABS 板 | 34 ABS | 38 ABS | 31 ABS |

PU*：ウレタンフォーム破壊

ABS：ABS 板面からの界面はく離

PP：PP 板面からの界面はく離

(S)：スティック&スリップ現象

180 度はく離強さ

[N/25mm]

| | 耐熱 | | |
|---------------------|-----------|-----------|----------|
| | 40℃ | 80℃ | 120℃ |
| ウレタンフォーム 対 PP 板 | 13 PU・PU* | 8 PU | 3 PU |
| ウレタンフォーム 対 ABS 板 | 15 PU* | 7 PU | 8 PU |
| 綿帆布 対 PP 板 | 20 PP | 22 PP・A* | 3 PP |
| 綿帆布 対 ABS 板 | 26 ABS・A* | 18 A*・ABS | 3 A*・ABS |

PU：ウレタンフォーム面からの界面はく離

ABS：ABS 板面からの界面はく離

PU*：ウレタンフォーム破壊

A*：接着剤凝集破壊

PP：PP 板面からの界面はく離

§ 注意事項

- ・保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・取扱い作業中には、換気をよくして下さい。
- ・目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・器具の洗浄は、使用后直ちに行って下さい。乾燥皮膜は、酢酸エチル、MEKなどで洗浄して下さい。
- ・容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理下さい。
- ・空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・水性の為、被着材及び施工法によっては錆が発生する可能性がありますので、十分な確認試験をお願いします。